

2023年度 事業報告書
2023年6月1日から2024年5月31日まで

特定非営利活動法人語りつぐ青函連絡船の会

1 事業の成果

事業名	成果
研究公開事業	いるか文庫の運営、資料収集等を行った。売り切れた冊子（図録）、クリアフォルダ（運航ダイヤのミニチュア）の再版、また、新規製作を行った。なお、本年度から成果物の頒布は、消費税簡易課税の見なし仕入率が小売と異なることもあり、この部門の直接事業とした（従来は製作のみを行い教育啓発事業部門に卸し頒布する形にしていた）。
保存展示事業	摩周丸入館者数は、新型コロナウイルス感染拡大前に回復した。外国人利用者の増加が目立つ。出渠から4年が経ち船体各部のサビが目立ってきたため、前年度に引き続き修復・塗装に努めた。ガス、電気料金、修繕費の出費がかさんだ。
教育啓発事業	展示物の更新・修復作業を進めた。企画展・イベントは前年度同様ほとんど行えなかったが、7月に摩周丸が日本船舶海洋工学会の「ふね遺産」の認定を受けたので、関係者を招待し、その認定プレートの掲額式を開催した。
物品販売事業	前年度よりやや伸びた。仕入れを抑えたため（前年度が過多だった）、本年度は順当に黒字となった。
喫茶事業	休業した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
鉄道連絡船に関する資料、産業遺産の収集、調査、研究、公開事業	研究公開事業	青函連絡船を中心に船と鉄道に関する資料を収蔵公開する私設図書館（いるか文庫）の運営及び調査研究活動における成果物の出版。	随時。いるか文庫は通年（水・木曜日定休）	函館駅2階いるか文庫ほか	6人	道南住民及び旅行者約10,000人	1,294,294
鉄道連絡船に関する資料、産業遺産の保存、管理、展示事業	保存展示事業	旧青函連絡船を活用した博物館船（函館市青函連絡船記念館摩周丸）の管理運営。	通年	函館市青函連絡船記念館摩周丸	15人	道南住民及び旅行者約60,000人	36,210,695
鉄道連絡船の歴史と文化に関する教育、啓発、情報提供事業	教育啓発事業	青函連絡船の歴史、技術、文化の学習理解、摩周丸の広報宣伝を目的とした企画展、セミナー、イベント等の実施及び物品の頒布。	随時	函館市青函連絡船記念館摩周丸ほか	10人	日本全国約60,000人	4,537,314
支出合計							42,042,304

(2) その他の事業

定款の事業名	事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	支出額	
前項（特定非営利活動に係る事業）に関連するものを除く図書、物品等の販売事業	物品販売事業	鉄道連絡船に関連しない図書、物品等の販売。	通年	函館駅2階いるか文庫／函館市青函連絡船記念館摩周丸	6人	1,171,984	
飲食店及び喫茶事業	喫茶事業	飲食物の提供。	休止	函館市青函連絡船記念館摩周丸	0人	0	
会員相互の交流を図る事業	会員交流事業	懇親会、見学会、旅行会等の実施。	本年度は実施しなかった			0	
支出合計							1,171,984